

第4期墨田区障害者行動計画（後期）

計画の期間・位置づけ

計画の期間 平成23年度から平成32年度までの10年間（平成23年度から平成26年度までを前期とし、現在は平成27年度から平成32年度の後期計画を実施している。）

計画の位置づけ 本計画は障害者基本法に基づく本区における障害者施策に関する基本的な計画であり、地域福祉計画及び障害福祉計画の内容を踏まえ、障害者施策について取り組むべき施策を総合的、体系的かつ具体的に定めている。

平成29年度

1 事業実績

平成29年度事業実績について、主なものは以下のとおりである。

（1）重度肢体不自由児（者）生活介護事業所の整備

プロポーザル方式により公募し選定した社会福祉法人晴山会による、重度肢体不自由児（者）を対象とする生活介護事業所の整備支援を行い、平成30年4月に開所した。

（2）民間活力を導入した区立福祉作業所の再整備

老朽化が進む「墨田福祉作業所」の利用者を受け入れる施設の整備（平成31年度開所予定）にあたり、プロポーザル方式による公募により選定した、社会福祉法人墨田さんさん会により、建設予定地の整備、建物の設計を行った。

（3）作業所等経営ネットワーク支援事業

- ・墨田区庁舎1階の共同販売「スカイワゴン」での売上額（概算）
平成29年度：約752万円（前年度約713万円、前年度比105.5%）
- ・ソラマチにおける買取販売売上 平成29年度：約34万円（前年度約45万円、前年度比75.6%）
- ・障害のある方の工賃等還元額 平成29年度：約720万円（前年度約614万円、前年度比117.3%）

2 事業評価

事業数及び評価

評価	A	B	その他
計画書掲載事業数 147事業	145事業	0事業	2事業

A：計画どおり進んでいる場合

B：計画に遅れが生じている場合

その他：計画の見直し等の必要が生じている場合等

評価「その他」事業一覧

	事業番号	事業名	説明
1	42	障害者の雇用拡大を図るための施設整備助成制度の実施	企業から問い合わせもあったが、実績が上がらなかった状況も踏まえ、事業について検討を行うため。
2	80	福祉ホーム運営費補助事業の実施	利用者が、平成27年度中に退所している。現在は他の障害福祉サービスの活用による在宅生活やグループホームの利用が主であり、本事業の新規の利用は現在見込めない。

3 目標と実績についての分析

本計画における各事業について、概ね計画通り実施されている。

ただし、評価が「その他」となった「障害者の雇用拡大を図るための施設整備助成制度の実施」事業については、実績が上がっていないが、今後、制度の検証やネットワーク会議等でニーズ調査を実施するなどし、助成制度の活用を促していく。また、「福祉ホーム運営費補助事業の実施」事業については、新規の利用者が見込めないため、実質的な事業の遅延はない。

平成30年度

1 事業計画

平成30年度事業計画について、主なものは以下のとおりである。

(1) 民間活力を導入した区立福祉作業所の再整備

老朽化が進む「墨田福祉作業所」の利用者を受け入れる施設を整備する（福）墨田さんさん会に対し、施設整備費の一部を補助する。

(2) 障害者グループホームの整備・支援体制強化支援

重度障害者を対象とするグループホームについて、プロポーザル方式による事業者公募を実施し、運営事業者を選定し、建物の設計を進める。

(3) 障害者施設における新商品開発等支援事業

障害者施設における工賃向上を目的として、引き続き区内のクリエイター等を活用し、商品の改良・販路開拓を支援する。

平成30年度は、新たにPRのためにホームページとカタログを作成する等して、個人、団体・企業からの共同受注を推進する。

2 事業計画に対する考え方

平成30年度は、「第4期墨田区障害者行動計画（後期）」で掲げた基本理念に沿った7つの基本目標を達成するため、本区における障害施策に関する事業の進捗を把握し、管理をしていく。

本計画の事業のうち、特に、障害福祉サービス等の需要増に伴う、施設の整備、開所を進めようとしており、既存の各種事業を踏まえ、円滑な事業運営ができるよう管理していく必要がある。

また、平成33年度からの次期計画の策定を見据えて、各種事業の進捗を適切に把握しつつ、事業の促進、廃止を検討し、さらに新たに必要となってくる事業についても検討していく。